

令和3年度事業報告書

自：令和03年04月01日

至：令和04年03月31日

社会福祉法人守人会

令和3年度法人事業報告

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止重点措置地域として、埼玉県は令和3年7月12日から9月30日、その後令和4年1月19日から3月21日まで発令されましたが、施設内での感染者を発生させること無く対応しました。

職員では、同居家族からの感染として3名(委託給食会社職員2名、介護職員1名)、感染経路不明者1名(訪問介護職員)の計4名が感染した。同居家族が感染し濃厚接触者となった職員が2名いた。

慢性的な介護職員の深刻な人手不足解消として、人材確保のため、介護技能実習2号と食品技能実習3号から特定技能介護へ在留資格を変更したインドネシア国籍2名を採用した。

定款で定める社会福祉事業

種別	社会福祉事業等	事業所名
第1種社会福祉事業	特別養護老人ホームの経営	特別養護老人ホーム森林園 特別養護老人ホーム森林園(ユニット型)
第2種社会福祉事業	老人デイサービス事業の経営	森林園デイサービスセンター
	老人短期入所事業の経営	森林園短期入所施設
	老人居宅介護等事業の経営	ヘルパーステーション森林園
	老人介護支援センターの経営	在宅介護支援センター森林園
公益事業	居宅介護支援の事業	居宅介護支援事業所森林園

※定款で定める公益事業の「居宅介護支援の事業」については、事業規模が小さく社会福祉事業と一体的に行われる事業又は社会福祉事業の用に供する施設の機能を活用して行う事業となっているため、居宅介護支援事業森林園については、社会福祉事業として取扱いしている。

<令和3年度の取組実績>

評議員会開催状況

評議員定数：7名

開催年月日	審議事項等	出席者	立会理事監事
令和3年 6月21日	審議事項 ・ 令和2年度事業報告書及び計算書類等(決算報告)の承認について ・ 理事及び監事の選任について ・ 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給基準及び理事及び監事の報酬等の額について(定款変更含む)	7名	1名

理事会開催状況

理事定数：6名 監事定数：2名

開催年月日	審議事項	出席者	立会監事
令和3年 6月2日	<p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業報告承認について ・令和2年度決算書類承認について ・施設長(管理者)の交代について ・評議員死亡欠員及び辞任による補充候補者推薦について ・令和3年6月開催の定時評議員会で任期満了となる評議員候補者推薦について ・令和3年6月開催の定時評議員会で任期満了となる役員(理事・監事)の改選に伴う候補者選定について ・令和3年6月開催の定時評議員会で任期満了となる評議員選任解任委員会委員の選任について ・定時評議員会開催日時及び議案について ・特定当座貸越融資(50,000千円)について ・夏季賞与資金借入(18,000千円)について <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定技能実習生(介護)受入れに伴う介護分野における特定技能協議会入会証明書について 	5名	2名
令和3年 6月25日	<p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事長の選出について ・施設長(管理者)の交代について <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定款変更について ・役員等報酬規程(報酬等の支給の基準)について 	4名	2名
令和3年 12月2日	<p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度中間決算報告承認について ・令和3年度第1次補正予算について ・12月賞与資金借入(18,000千円)について ・委託給食業者の承認について <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐日フィリピン共和国大使館海外雇用事務所(POLO)申請等について ・インドネシア技能実習生の入国について 	6名	2名

理事会開催状況

開催年月日	審議事項	出席者	立会監事
令和3年 3月18日	審議事項 ・ 令和3年度第2次補正予算の件 ・ 令和4年度事業計画の件 ・ 令和4年度収支予算の件について ・ 従来型特養食堂部分の空調設備故障入替の件 報告事項 ・ 駐日フィリピン共和国大使館海外雇用事務所(POLO)の認証と推薦書受領について	理事全員 書面同意	理事会決議 事項確認書

評議員選任解任委員会開催状況

委員：3名

開催年月日	審議事項	出席者
令和3年 6月2日	審議事項 ・ 評議員の解任(永眠1名、高齢と施設入所による辞任2名)について ・ 補充評議員3名の選任について	3名
令和3年 6月21日	審議事項 ・ 任期満了に伴う評議員の選任について	3名

経営会議

理事長(施設長)、理事で職員の者、事務長、会計事務所で構成された会議で、法人運営の指針や月次決算、日常の様々な問題について方向性を決定し、実務処理を行いました。

開催年月日	審議事項	出席者
令和4年 3月4日	審議事項 ・ 訪問職員新型コロナウイルス感染による濃厚接触となった利用者や「濃厚接触者の濃厚接触者」の対応について ・ 職員補充について ・ リース期間終了に伴うパソコン・サーバー等の入替について ・ 従来型特養食堂部分の空調設備故障入替について ・ 技能実習生(インドネシア国籍3名)の入国について ・ 令和4年度事業計画と収支予算に対する理事会開催日時について	2名

I 技能実習生(インドネシア共和国)と特定技能介護(フィリピン共和国)の妊娠・出産について
新型コロナウイルス感染症(Covid-19)による世界中がパンデミック中でしたが、以下のとおり未婚で妊娠・出産され就労を再開することができました。

- ① インドネシア技能実習生1名は、技能実習を一時中断し、出産のため令和3年6月17日母国へ帰国し、7月2日出産し、子供を親族へ預け、8月14日再入国し、羽田空港に隣接したホテルで8月24日までの10日間隔離期間を経て、その後4日間東松山市内のホテルで自主隔離を行い、9月1日から就労を再開した。
- ② フィリピン特定技能者1名は、当該法人がフィリピン海外雇用庁へ事業者登録が未承認のため、母国へ帰国すると日本に戻れなくなるため、国内で令和3年10月15日出産し、子供を知人に依頼し令和4年2月23日母国へ連れて行っていただき、3月1日から就労を再開した。

II 補助金について

- ① 埼玉県感染防止対策支援事業補助金 120,000円
新型コロナウイルス感染拡大防止対策支援事業(介護施設等における感染防止対策経費支援事業にかかる分)として、特養・短期・地域密着通所・訪問介護・居宅介護支援事業所に購入した感染対策防止物品の購入支援として補助金が交付された。
- ② 埼玉県外国人環境整備事業補助金 360,000円
外国人労働者の日本語学習支援として、埼玉ブリエ日本語学校とのwebによる日本語授業費やパソコン、パソコン周辺機器等の購入費用支援として交付された。
- ③ 埼玉県介護職員初任者研修受講支援助成金 180,000円
令和3年度で介護職員初任者研修を修了し、県内事業所で介護職員として従事した者に受講料支援として、1名につき30,000円限度で費用支援する助成金で、6名分交付された。
- ④ 埼玉労働局両立支援等助成金(新型コロナウイルス感染症に関する母性健康管理措置による休暇取得支援コース) 285,000円
新型コロナウイルス感染症に関する母性健康管理措置として、医師又は助産師の指導により、休業が必要とされた妊娠中の女性労働者が取得できる有給の休暇制度(年次有給休暇を除き、年次有給休暇の賃金相当額の6割以上が支払われるものに限る)を整備し、当該休暇を合計して20日以上取得させた事業主に助成金として交付された。
- ⑤ 埼玉労働局両立支援等助成金(新型コロナウイルス感染症に関する母性健康管理措置による休暇取得支援コース)導入支援助成金 150,000円
④ を導入した事業主に対して、導入支援として交付された。

III 外国人介護人材確保と日本語学習支援

令和2年3月23日にインドネシア介護技能実習生専門送出し機関の和(なごみ)介護学校と Skype を用いた web 上での面接を実施し、10名面接し3名(看護師)を内定採用し、新型コロナウイルス感染症により新規外国人の入国制限が解除され、令和4年3月19日に入国でき、現在長野県小諸市にある介護施設協同組合で、入国者研修と介護職員初任者研修を受講中です。当該法人への配属は、5月14日になります。

その他、他法人で就労していたインドネシア介護2号技能実習生を特定技能介護へ在留資格変更許可申請し令和3年8月に1名採用、パン製造3号技能実習生を特定技能介護へ在留資格変更許可申請し令和4年1月に採用し、介護職員初任者研修を受講させた。

日本語学習支援として、埼玉ブリエ日本語学校と契約し、月曜日から金曜日まで日本語能力別にクラス分けを行い、web を利用し日本語学習の機会を勤務時間内で実施した。

IV 職員の採用／退職状況(パート職員含む)

令和3年度の採用者は8名で、退職者は9名であった。

入職者：8名 介護職員5名(特定技能外国人含む)、介護支援専門員2名、宿直者1名

退職者：9名 看護職員2名、介護職員5名、介護支援専門員1名、宿直者1名

事業所別	ユニット含む特養・短期	通所	訪問・在支	計
入職者	8名	0名	0名	8名
退職者	9名	0名	1名	9名

V 資格取得支援制度

職員に対する資格取得支援制度として、下記の研修等に対する資格取得に対し支援を実施した。

研修や資格支援名	令和3年度	令和2年度	令和1年度	平成30年度
介護職員初任者研修	6名	1名	2名	
介護職員実務者研修		1名	3名	
ユニットリーダー研修				2名
生活援助従事者研修			1名	
介護評価者(アセッサー)研修		1名		
主任介護支援専門員研修	1名		1名	
計	7名	3名	7名	2名

VI 地域における公益的な取り組み

社会福祉法人は、社会福祉法第24条第2項の規定により3つの要件全てを満たす事業を実施する必要があり、当法人は下記掲げる事業を実施した。

- ①社会福祉事業又は公益事業を行うにあたって提供される福祉サービスであること。
- ②対象者が日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者であること。
- ③無料又は低額な料金で提供されること。

(1)食品ロス支援活動(冷凍食品・規格外農産物の配布)

地域の生活困窮者支援として、生活保護受給者や成長期の児童がおり生活に困っている世帯に、一般社団法人中央ライフ・サポートセンターの食品ロスを減らし社会貢献活動を推進する「新しい食品循環ネットワーク活動」として、冷凍食品・規格外農産物をお届けしました。

令和3年6月 農産物を生活困窮者宅に配布

配布内容：新じゃが3キロ、新玉ねぎ3キロ

配布地区：羽尾2件、月輪4件

8月 食品ロスの冷凍食品を生活困窮者宅に配布

配布内容：肉野菜巻き、ブロッコリー、枝豆

配布地区：羽尾2件、月輪3件

9月 食品ロスを活用した高齢者の集まりでのおやつ提供

提供内容：ずんだおはぎ

高齢者：28名

令和4年2月 食品ロスの冷凍食品を生活困窮者宅に配布

配布内容：唐揚げ、ピザ

配布地区：羽尾3件、月輪1件、都1件

反響

- ・野菜の値段が上がっていて、買うのも躊躇していたので、野菜の配布は助かる。
- ・ジャガイモや玉ねぎは保存がきくので、大変助かる。
- ・育ち盛りの児童・生徒がいるので助かります。
- ・急な体調不良で受診し、交通費が高かったので食費がなくなり困っていた。
- ・冷凍食品等保存可能な食品の配布はとてもありがたい。
- ・新型コロナウイルス感染を懸念し、買い物にあまり出られなかったので助かる。
- ・暑くて外出できない。冷凍食品は保存できるのでうれしいです。
- ・お金も食べる物もなくなって、助かりました。

感想

- ・コロナ感染を心配して買い物に出にくいとの意見が多かった。寄贈品の配布活動は大変喜ばれ、継続的な活動として、困窮者対策に貢献しました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえながら訪問による手渡し配布で、日々の暮らしに困っている家庭が多いことを実感しました。

令和3年6月17日

生活困窮者支援

農産物配布



令和3年9月19日

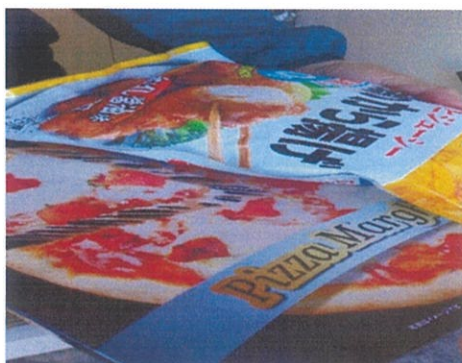
高齢者の集まりで寄贈品をおやつに加工して提供



令和3年8月20日 生活困窮者 冷凍食品配布



令和3年2月7日 生活困窮者 冷凍食品配布



介護部門事業報告

1. 入居者の状況

(1) 定員

- ① 特別養護老人ホーム（多床室） 定員 58名
- ② 特別養護老人ホーム（ユニット）定員 30名
- ③ ショートステイ 定員 12名

(2) 特養入所者の年齢別男女構成分布

（令和4年3月31日現在）

年齢	性別	男性（名）		女性（名）		計（名）
		多床室	ユニット	多床室	ユニット	
64歳以下		0	0	0	0	0
65歳～69歳		0	0	1	0	1
70～74歳		3	0	4	1	8
75～79歳		1	1	2	1	5
80～84歳		5	5	5	3	18
85～89歳		3	2	12	5	22
90歳以上		1	4	21	8	34
計		13	12	45	17	87

(3) 入所者の年齢構成

（令和4年3月31日現在）

年齢	性別	男性（歳）		女性（歳）		計（歳）	
		多床室	ユニット	多床室	ユニット	多床室	ユニット
平均年齢		82.15	85.58	87.77	89.11	84.96	87.34
最高年齢		89	96	105	102	97	99
最低年齢		70	78	69	72	69.5	75

(4) 入所期間

（令和4年3月31日現在）

年齢	性別	多床室		ユニット		計（名）
		男	女	男	女	
6カ月未満		3	8	4	2	17
6カ月～1年未満		0	7	2	5	14
1年～2年未満		3	4	1	2	10
2年～3年未満		1	8	2	0	11
3年～4年未満		1	4	1	0	6
4年～5年未満		1	5	0	2	8

5年～6年未満	1	0	0	2	3
6年～7年未満	0	2	2	2	6
7年～8年未満	0	5	0	0	5
8年～9年未満	1	0	0	1	2
9年～10年未満	0	1	0	0	1
10年以上	2	0	0	1	3
計	13	45	12	17	87

(5) 入所者の要介護度構成

(令和4年3月31日現在)

介護区分		要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	計
多床室	男性	0	2	6	2	3	0	13
	女性	0	3	11	19	12	0	45
ユニット	男性	0	0	5	4	3	0	12
	女性	0	1	4	6	6	0	17
計		0	6	26	31	24	0	87

(6) 保険者別入所状況

(令和4年3月31日現在)

保険者	入所者数	保険者	入所者数
滑川町	40	吉見町	3
東松山市	19	ときがわ町	4
嵐山町	12	東秩父村	1
小川町	1	鶴ヶ島市	1
川越市	1	東京都町田市	1
さいたま市	1	東京都北区	1

2. 生きがい活動

口腔ケア体操・体操は感染症予防の為中止。又カラオケは少人数にて換気を行っている状態にて実施。主に塗り絵・貼り絵を中心に行った。

(施設内活動)

項目	内容
貼り絵 塗り絵	塗り絵を中心に毎日実施。季節に合わせた塗り絵を行い施設の中でも季節を感じて頂ける様にした。皆様様々な色を使い個性豊かに行った。
カラオケ	歌う事は自立神経や血圧の安定を図れると共に、口を動かされる事で顎周辺の筋肉の強化や唾液分泌にもつながり誤嚥防止に役立てました。

(施設外活動)

項目	内容
散歩	施設周辺に神社やお寺があり、花々を見学に散歩を行いました。外出が基本出来ない為園内での散歩になりましたが大変喜ばれていました。

3. 行事

新型コロナウイルスの関係で外部からの受け入れを中止し、感染予防のため大勢が集まる行事を全て止めました。

施設内にて、飾り付け等で季節の移り変わりを表現しました。

4月	桜の飾りつけ	折り紙やきめこみの飾りつけを行い春の訪れを表現しました。
5月	鯉のぼりの飾りつけ	鯉のぼりの飾りつけを行っています。
7月	七夕飾り	七夕飾りを作り、様々な思いを込めた短冊を飾りました。
	納涼祭	食事とお祭りの飾りつけで祭りの雰囲気づくりを行った。
9月	敬老会	祝者の方へ花束・プレゼントの贈呈を行った。きれいな花束に終始笑顔でした。
12月	クリスマス会	ツリーの飾りつけやプレゼントを渡しとても喜ばれました。
	餅つき	飾りつけ、お供えを行っています。
1月	正月飾り	凧やお餅のお供え、福笑い等を飾りお正月を迎えています。
2月	節分	鬼役をつくり、お手玉を投げて節分を行いました。
3月	梅見ドライブ	熊谷・東松山に梅見のドライブに出かけています。

その他、その月の誕生者には写真撮影後祝福し、時期のイベントに合わせた行事食を提供しました。又、手作りカードを作りお渡しました

4. ボランティア受け入れ実績

新型コロナウイルス感染症対策の為、受け入れを中止しました。

5. 介護体験実習・施設見学受け入れ実績

新型コロナウイルスの為、受け入れを中止しました。

※園内への受け入れができない為、滑川中学ドリームプロジェクトへ参加。お手玉やクッションを頂いています。

6. 会議関係

会議名	内容	実施回数	構成員
リーダー会議	行事等予定の調整、施設運営に係る会議	毎月1回実施 (年12回)	施設長、事務長、介護主任、看護主任、介護支援専門員、栄養士、デイ主任、居宅主任、ヘルプ責任者・相談員
ケース会議	ケアプラン作成において半年毎のプラン見直しや	検討が必要な場合について随時	介護職員、看護職員、栄養士、介護支援専門員、理学療法士・言

	介護度変更に伴う会議	開催	語聴覚士・相談員
優先入所検討委員会	特養新規入所者及び入所申込者について順位決定の会議	毎月1回実施	施設長、第3者委員、看護主任、介護支援専門員、相談員・介護主任(12月～3月は第3者委員の方と相談員のみでの会議となる)
多床室職員会議 ユニット職員会議 デイ職員会議	各部署の業務についての会議	毎月1回実施 〈年12回〉	施設長、介護支援専門員、介護職員、相談員

・ケース会議

ご入所者1名に対し、年に最低2回実施しました。内容については問題行動の改善、生活に係る問題点や処遇の具体的な見直しなどです。各部署職員が集まる事が感染症の関係上難しく、ケアマネジャーを中心に情報を集めて行っています。

・各委員会

○衛生委員会

新型コロナウイルス対策を中心に施設内に持ち込まないことを前提に対策を練り、手指消毒やマスク・検温等対策を行っています。

○吸引・褥瘡委員会

ご利用者への吸引の実施状況報告と褥瘡ハイリスク者の報告と褥瘡処置実施者の経過報告を実施しました。

○事故対策・身体拘束廃止・不適切ケア防止委員会

ヒヤリハットと事故の報告と対策についての検討。身体拘束実施者と廃止についての検討。不適切ケア防止の検討。

○給食会議

栄養士を中心に情報を集め随時改善を行った。

【衛生委員会】

新型コロナウイルス感染症対策として、こまめな換気、テーブルや手すりの消毒に努め、トイレに消毒液を設置し、マスクを使用できる入居者へはマスクの着用をお願いしました。昨年より各居室に加湿器を使用し湿度を一定に保つように努め、12月には入浴場や洗濯場、各居室の大掃除を実施しました。

5月 加湿器回収・清掃、バルサン吹き(2週間あけて2回実施)

6月 アースノーマット設置

10月 新型コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルス研修(資料閲覧)、居室設置消毒の交換

11月 加湿器設置、使用開始 居室設置消毒液の交換(偶数部屋)

12月 大掃除

2月 居室設置消毒液の交換(奇数部屋)

3月 居室設置消毒液の交換(偶数部屋)

【吸引・褥瘡委員会】

実施頻度：1回/月（第3月曜日 15：00～15：45）

職種：施設長、相談員、ケアマネージャー、栄養士、看護師、理学療法士、言語聴覚療法士、介護士
会議内容：

- ① 吸引が必要な利用者様への吸引頻度や注意点の確認
- ② 褥瘡が発生している利用者様の状態報告、対応検討
- ③ 褥瘡リスクがある利用者様への対応検討

<褥瘡発生件数>

18件/年（治癒：9件、治療中：3件、その他：6件）※その他は治療中に他施設へ転院

【事故対策・身体拘束廃止委員会】

実施頻度：1回/月（第2月曜日 15：00～15：45）

職種：施設長、相談員、ケアマネージャー、看護師、理学療法士、介護士
会議内容：

- ① 先月に挙げた事故・ヒヤリハットについての報告と対策の再検討
- ② 事故リスクが見込まれる利用者様への対応検討
- ③ 身体拘束をしている利用者様の拘束解除について検討

<従来型 事故実績>

事故：100件/年（県への報告：13件） ヒヤリハット：68件/年

事故内訳：転倒64、剥離20、離設2、誤薬1、その他13

<ユニット型 事故実績>

事故：34件/年（県への報告：4件） ヒヤリハット：54件/年

事故内訳：転倒12、剥離8、離設、誤薬3、その他11

※事故の定義：利用者には何かの実害があり処置や治療を要したもの（例外として、転倒・転落に関しては処置の有無に関わらず全て事故として扱う）

7. 施設内研修

書面にて資料を閲覧し、随時担当者が質疑応答を行っています。

月	内容	詳細
4月	認知症・処遇について	認知症の種別やそのケア方法
6月	感染症全般・コロナウイルス	ウイルスや菌がどのような形で感染をしていくのか、又予防・対応方法について
8月	身体拘束・虐待	身体拘束禁止規程や高齢者虐待に至ってしまう経緯、通報の義務と対応
10月	インフルエンザ・ノロウイルス・コロナウイルス	新型コロナウイルスを中心に資料をまとめ閲覧した。
1月	事故研修（誤薬・転倒等）	事故リスクについて学びました。
3月	褥瘡について	褥瘡の原因と対応、栄養面について学びました

随時	事故予知	介護会議の中でリスク者について検討しました。
随時	入浴事故研修	入浴事故リスク・防止について学びました。

8. ショートステイ

定員：12名(四人室×3部屋)

	サービス実施状況				一日平均入所者数
	実人数(名)		延人数(名)		
	令和2年	令和3年	令和2年	令和3年	全体(名)
4月	21	18	324	242	8.1
5月	19	23	338	316	10.3
6月	23	18	328	280	9.4
7月	20	21	326	304	9.9
8月	22	23	333	338	11.0
9月	19	18	314	308	10.3
10月	23	20	311	306	9.9
11月	20	18	300	335	11.2
12月	19	18	293	329	10.0
1月	21	20	287	322	10.4
2月	16	19	249	321	11.5
3月	14	17	234	314	10.2

看護・機能訓練事業報告

新型コロナウイルス感染症の蔓延防止と予防対策のため、発熱者に対しては直ちに医療機関へ搬送し、PCR抗体検査を行い、毎日ご利用者に対し声掛けし健康状態のチェックを致しました。介護職より、排泄、食事、睡眠、ADL(日常生活動作)、精神状態の報告を受け状態観察に努めました。

年間の医療機関への受診は、28医療機関336件で、従来型特養150件、ユニット型特養が149件、ショートステイ利用者が37件でした。

予防接種他

○PCR抗体検査：埼玉県及び日本財団の支援により厨房職員を含む施設職員に対しPCR抗体検査(唾液)を毎週実施しました。

○インフルエンザ：ご利用者1回実施(特養は全員実施。ショートステイ利用者は希望者のみ)
：職員1回実施(アレルギーなどの問題がない限り全職員実施)

○肺炎球菌ワクチン：高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種を希望により、接種実施しております。

○ストレスチェック：職員75名のストレスチェックを行い、高ストレス者は9名であった。

栄養事業報告

1. 事業運営の概況

ご利用者の食事状況を見に行き、食事形態の確認や摂取量を確認を行いました。体重測定を定期的
に実施し、体重の増減を考慮し健康状態の改善・向上に努めました。

衛生管理の徹底に努め、害虫駆除やグリストラップ清掃を外部業者に依頼するとともに腸内細菌検
査を実施し感染症対策を行いました。

新型コロナウイルスへの感染対策の徹底を昨年度に引き続き、委託業者や他職種と連携しながら行
いました。

また、厨房機器の故障に関する修理の実施、ガス警報器の交換時期のため交換をしました。

2. 食事状況

季節に応じた行事食を起案し、食事を通してご利用者には四季を感じていただきました。

また、新型コロナウイルス流行のため、施設全体での行事やレクリエーションは行わず、各部署ごと
に実施し感染予防に努めました。行事の催し物ができない分、食事内容やお品書きなどで食事や行事
を楽しんでいただけるよう工夫しました。

(1) 行事食の実績

5月	八十八夜　こどもの日
6月	おやつレク(喫茶)
7月	納涼祭　七夕　土用の丑
8月	おやつレク(ソフトクリーム)
9月	敬老会
10月	ハロウィン
11月	おやつレク(焼き芋)
12月	クリスマス　おやつレク(飲茶)　年越しそば
1月	おせち　新年会　おやつレク(焼き芋)
2月	節分　バレンタイン
3月	ひなまつり　おやつレク(焼き芋)

(2) 選択食の実績

4月	中華丼　・　麻婆丼
5月	肉そば　・　梅とろろそば
6月	親子丼　・　穴子卵とじ丼
8月	夏野菜カレー　・　焼肉ピラフ
11月	鉄火丼　・　温玉そばろ丼

地域密着型通所介護事業報告

基本事項

地域密着型（滑川町住居者のみ利用可能）

1日定員：18名（※滑川町が認める特定者利用時については、週2回限度で、1日定員20名）

事業内容：通所介護事業、介護予防通所介護、総合事業

送迎範囲：滑川町全域

営業日：月曜日～土曜日（ただし1月1日～1月3日までは除く）

サービス提供時間：10時～16時

1. 年間行事実施状況

令和2年3月の川島町での河津桜花見ドライブ以降、新型コロナウイルス感染症の流行あり。3密回避等、感染予防対策の為外出企画、他部署との合同行事等施設内での企画も全て中止しています。唯一外出の機会があった初詣では例年、箭弓神社へ参拝しており今年は諦めていたところ近くの羽尾神社に参拝者がいないとの事で少人数での初詣を行いました。皆さん、久しぶりの外出を楽しまれ又コロナウイルスの早い収束を祈願されていました。各月外出は出来ずお花見にも行けない状況でしたが季節を感じていただくため毎月皆で製作を行い季節の花、節句飾り等を展示し記念写真を撮り気分転換を図りました。

2. デイサービスでの活動（趣味活動・作業・レクリエーション・運動）

項目	内容
塗り絵 漢字プリント 計算プリント 脳トレプリント 読書	景色や季節の花ぬりえ、難読漢字プリント、計算プリント、なぞなぞ、クロスワード、ナンプレ、頓智、迷路、間違い探し等脳トレプリントをご自分に合った物を選択して頂き行っています。実施後、職員が採点、評価を行う事で達成感も得られ意欲的に行っています。中々進まない方には職員と一緒に楽しみながら行っています。
趣味活動 麻雀 知恵の輪	趣味活動として、将棋・囲碁・オセロ等出来る方は職員と楽しみながら頭の運動を行っています。最近では麻雀の輪が広がり時間が足りないとお昼を早く食べ機能訓練の時間ギリギリまで麻雀を楽しまれています。知恵の輪やパズルも人気があり時間があると手に取り行っています。
カラオケ	以前は水曜日がカラオケの日として行っていましたがカラオケを楽しめる方も増え曜日に関係なく機能訓練後の時間や他の方が入浴されている間にカラオケを楽しまれています。
レクリエーション	毎日、その日の様子や介護度に合わせ楽しめるレクリエーションを提供しています。体を動かすものや頭の体操等。
体操	食前に嚙下体操、昼寝後に長生き音頭体操を実施しています。
個別機能訓練	体幹、柔軟体操。平行棒、階段、段差等歩行訓練、洗濯、洗い物、畑作業等プランに沿って個別に実施しています。
制作活動	各月作品作り。出来る作業を分担し行い季節を感じられる様な飾りを作成して

	います。コロナウイルスで外出に行けない為前年に比べ熱の入った作品が多く出来ました。毎回、作成後には記念写真を撮り楽しんでいます。
--	--

3. 会議・委員会活動

会議・委員会名	内容
事故対策委員会	各部署事故報告行い。検討が必要なケースについて話し合いを行う。通所としては離接事故が有り対策を講じています。
衛生委員会	感染症報告。新型コロナウイルス感染症対策を中心に話し合いを行う。新型コロナウイルス感染症濃厚接触者との事で利用休まれるケースが何件か有り。担当CMご家族様と連絡を取り対応している。
給食委員会	食事提供について委託業者を交え、各部署問題点の報告や要望等を話し合う。
リーダー会議	各会議の報告。全体での申し送り事項等を各部署主任が参加し行う。
通所会議	テーブルを分け距離を保ち実施。通所での問題、改善策についての話し合い情報を共有。サービスの質の向上や問題点等について話し合い。今年度の会議では新型コロナウイルス感染症予防対策について、感染症対策を講じた上でどの様に交流やレクリエーションを楽しんで頂くか等を協議しました。新型コロナウイルスが蔓延している中、少しでも安心して利用頂ける様対策の検討を重点的に行いました。
ケース会議	ご利用者の状態、ケアの変更等について。又、事故防止の為、注意点等情報の共有を図る。通所職員参加。各利用者について意見交換、情報の共有を図りより良いケアを検討。利用者の入れ替わりも多く新規利用者の対応について等話し合う。個別に事故リスクについての検討、対策。
行事会議	開催無し。
担当者会議	新規契約。大幅な変更時のみ参加。更新時の会議は書面にて報告。
運営推進会議	開催無し。報告書にて対応。

4. 施設内研修

感染症対策の為、集まって行うことはせず各部署に資料が配布され個別に学習し対応しています。各種事故入浴事故についてはケース会議や入浴時等にリスクについて話し合い行っています。

月	項目
4月	認知症・処遇について
6月	感染症全・コロナウイルスについて
8月	身体拘束・虐待について
10月	感染症全般・コロナウイルスについて
1月	誤薬・転倒等の事故について
3月	褥瘡について
随時	各種事故・入浴事故について

5. まとめ

全体としまして、前年度より引き続き新型コロナウイルス感染症対策に迫られた一年になりました。以前はコロナ対策での利用の変化に戸惑いや不安を持たれる方が多くいましたが現在ではコロナ禍での利用にも慣れ継続して利用頂いています。

次に利用率、実績の向上につきましては、令和2年度利用率81.84%、平均利用者数15.5人、令和3年度利用率92.87%、平均利用者数16.8人と向上しました。新規利用者の確保、柔軟な利用変更、空き情報のアナウンスを積極的に行っています。今後は現状の利用率を維持出来ればと思います。今後もまだ以前のように外出、花見等に行くことは難しそうですが、制限がある中でも安全安心に楽しみ気分転換が図れる場を提供できればと思います。

訪問介護事業報告

10月 第1回ヘルパー会議開催 ・利用者様の近況報告と改善対策・緊急連絡方法について

・訪問介護員にできる認知症ケアとは

2月 施設内研修参加

・事故研修（誤薬、転倒、緊急時等の対策）

3月 アンケート実施

その他・サービス担当者会議：5回 ・サービス担当者に対する照会（依頼）内容の提出：25回

（新型コロナウイルス感染予防の観点から、ご本人、ご家族がサービス担当者会議を希望されない為、書面にて提出）・カンファレンス：3回

訪問介護アンケート調査集計

回答総数 25 配布数 30 回収率 83%

		はい		どちらとも いえなし		いいえ		無回答	
		数	%	数	%	数	%	数	%
1	森林園に自分の意見を言いにくい。	3	12%	1	4%	19	76%	2	8%
2	ヘルパーは気持ちを確認しながら支援してくれる。	22	88%	1	4%	2	8%	0	0%
3	ヘルパーからの言葉や態度で嫌な思いをした事がある。	2	8%	0	0%	23	92%	0	0%
4	ヘルパーは私の話を親身になって聞いてくれる。	21	84%	1	4%	2	8%	1	4%
5	森林園のヘルパーに対して安心感がある。	22	88%	1	4%	2	8%	0	0%
6	ヘルパーは家の物を使って、元の所に戻さないことがある。	2	8%	0	0%	23	92%	0	0%
7	いつも慣れたヘルパーに来てもらいたい。	18	72%	4	16%	3	12%	0	0%

8	ヘルパーが時間に遅れたり、予定変更を連絡しない事がある。	1	4%	0	0%	24	96%	0	0%
9	ヘルパーから立ち入った事を聞かれて、嫌な思いをした事がある	1	4%	1	4%	23	92%	0	0%
10	ヘルパーから他の家の話を、聞いたことがある。	1	4%	0	0%	24	96%	0	0%
11	事業所は、私の家でする仕事を書いた書類（訪問介護計画書）を説明してくれた	16	64%	2	8%	6	24%	1	4%

《まとめ》

- ・質問3に対して、ヘルパーの態度で嫌な思いをされることが無いように満足される介護を目指して努力します。
- ・質問9,10に対して、個人情報把握し十分気を付けるよう注意して参ります。

居宅介護支援事業所事業報告書

1. 運営状況

令和3年4月より、非常勤入職。現在、主任介護支援専門員1名（管理者兼務）、介護支援専門員1名（非常勤）にて運営している。

（1）介護予防サービス計画作成数（事業対象者・要支援1～2）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
件数	14	14	14	15	16	16	16
月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
件数	17	16	15	15	13	181	

居宅サービス計画書（要介護1～5）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
件数	20	22	23	24	23	28	27
月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
件数	26	23	26	25	28	295	

※月遅れ、返戻含む

（2）性別、要介護度別、年齢別状況（事業対象者、要支援1～2）

		事業対象者	要支援1	要支援2	合計
60～69	男	0	0	0	1
	女	0	1	0	
70～79	男	0	2	1	5
	女	1	1	0	
80～89	男	1	2	1	10
	女	4	1	1	
90～99	男	1	1	1	9
	女	2	2	2	
100～	男	0	0	0	0
	女	0	0	0	
合計		9	10	6	25

※（令和3年4月～令和4年3月まで：重複者あり）

性別、要介護度別、年齢別（要介護1～5）

		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
60～69	男	0	0	0	0	0	3
	女	3	0	0	0	0	
70～79	男	6	2	1	0	0	10
	女	1	0	0	0	0	
80～89	男	2	2	2	2	1	20
	女	3	1	3	2	2	
90～99	男	0	1	1	0	0	15
	女	4	1	3	5	0	
100～	男	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	
合計		19	7	10	9	3	48

2. 施設内外研修

月	開催場所	研修内容
4月	森林園	認知症について
8月	森林園	高齢者虐待防止について
10月	森林園	感染症（ノロウイルス・インフルエンザウイルス）について
10月	森林園（オンライン）	埼玉県 介護事業者における業務継続計画（BCP）策定 準備編
11月	森林園（オンライン）	埼玉県 介護事業者における業務継続計画（BCP）策定 実務編
	森林園（オンライン）	埼玉県 難病医療連絡協議会 第17回公演
	森林園（オンライン）	小川赤十字病院 在宅医療関連講演会
12月	森林園（DVD視聴）	介護支援専門員 レベルアップ研修 第4回目
3月	森林園	褥瘡について

※新型コロナウイルス感染症のため、施設外研修が多く開催されず。

比企地区においても、多職種連携研修が未実施であり、開催されても参加型ではなく、オンライン配信の公演型であった。

3. 地域ケア会議

月	開催場所	内容
4月	滑川町役場	介護認定に対する職権対応について 令和3年度 健康福祉課 事業計画 新型コロナウイルス予防接種について
5月	滑川町役場	地域ケア個別会議
6月	滑川町役場	介護保険パンフレットについて 滑川町 高齢者「こころの相談」事業について ケアマネジャー支援事業について 地域支援コーディネーター事業について（滑川社協） 各事業所からの報告
7月		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
8月		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
9月		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
10月	滑川町役場	滑川町 認知症高齢者等見守りシール交付事業 説明会 仕事と子育て・介護の両立について 埼玉県庁 産業労働部 介護保険負担減額認定の内容変更について 比企医師会在宅医療連携拠点の案内 高齢者インフルエンザ予防接種について 新型コロナウイルスワクチン 集団予防接種について 赤い羽根共同募金、敬老会中止（滑川社協） 各事業所より
11月	滑川町役場	地域ケア個別会議
12月	滑川町役場	住宅用火災警報器普及活動 比企広域消防本部 要介護認定の職権延長の終了について ケアラー支援施策について 新型コロナウイルス予防接種について
1月		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
2月		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
3月	滑川町役場	令和4年度 町民保険課の編成について 令和4年度 地域ケア会議の月予定について 新型コロナウイルス予防接種 3回目ワクチン接種について

※新型コロナウイルス感染症のため、まん延防止等特別措置が発令され、約半数の会議が中止となった。

4. アンケート結果

(1) サービス内容や事務手続きなどケアマネジャーの説明はわかりやすいですか？			
①わかりやすい (24件: 96%)	②どちらでもない (1件: 4%)		
③わかりにくい (0件: 0%)	④無回答 (0件: 0%)		
(2) 話し合いや、会議の内容について満足されていますか？			
①満足している (22件: 88%)	②どちらでもない (3件: 12%)		
③不満 (0件: 0%)	④無回答 (0件: 0%)		
0			
①感じている (25件: 100%)	②わからない (0件: 0%)		
③感じない (0件: 0%)	④無回答 (0件: 0%)		
(4) サービス内容の変更や急な出来事が起こった時など、ケアマネジャーは気持ちよく対応してくれますか？			
①そう思う (23件: 92%)	②どちらでもない (2件: 8%)		
③思わない (0件: 0%)	④無回答 (0件: 0%)		
(5) 訪問時間など、約束した事を守っていますか？			
①守っている (25件: 100%)	②どちらでもない (0件: 0%)		
③守っていない (0件: 0%)	④無回答 (0件: 0%)		
(6) ケアプラン(サービス計画書)の内容について満足されていますか？			
①満足 (25件: 100%)	②どちらでもない (0件: 0%)		
③不満 (0件: 0%)	④無回答 (0件: 0%)		
(7) ケアマネジャーは困り事に対してサービスの提案やアドバイスなどしてくれますか？			
①してくれる (22件: 88%)	②どちらでもない (2件: 8%)		
③してくれない (0件: 0%)	④無回答 (1件: 4%)		
(8) ケアマネジャーを変更したいと思った事がありますか？			
①今のまま (23件: 92%)	②どちらでもない (1件: 4%)		
③変更したい (0件: 0%)	④無回答 (1件: 4%)		
(9) ご回答・ご記入いただいた方はどなたですか？			
①本人 (14件: 56%)	②家族 (11件: 44%)		
配布枚数・・・ 38枚回収枚数・・・ 25枚回答率・・・ 66%			

5. まとめ

①令和3年度の新規利用者・・・16件

内訳(病院から:1名 包括支援センターから:4名 本人・家族から:10名 他事業所から:1名)

②令和3年度の利用終了者・・・15件

内訳(自立:1名 他事業所移行:1名 入院・入所:8名 死亡:5名)

《目標に対して》

- ①新型コロナウイルス感染症拡大防止にて、基本的感染対策のため十分なアセスメント時間の確保は困難であったが、モニタリングを重ねることで、継続してのアセスメントは行えている。また、アンケート結果では居宅サービス内容についての満足度は高いため、ご利用者様・ご家族様と相談しながら意向に沿った居宅介護支援は提供できているものと考えられる。
- ②医療と介護の連携強化では、要支援、要介護にかかわらず、入院時には情報提供をおこなっていることから、連携は図れている。公正中立性の観点では、どうしても資源が少ないことに加え、相談時に当法人のサービスを基部押される方が多く、通所系は偏りがみられている。
- ③初回アセスメント時に滑川町の介護保険制度のパンフレットを用いて説明を行っている。また、介護保険サービス見直し時になどにも、十分な説明を行うように心がけた。
- ④地域ケア会議を通して、行政からの情報提供や他事業所間での連携は図れているが、新型コロナウイルス感染症のため、開催数の制限は見られた。引き続き、滑川町地域包括支援センターや介護保険担当と情報共有しながら居宅介護支援に取り組んでいく。

在宅介護支援センター事業報告

滑川町全地域を対象とし、ご本人やご家族、地域の方々が安心して生活ができるよう多職種・他機関との報連相を密にし、連携をとりながら支援しました。又、24時間体制の窓口を持つ総合窓口としての機能を果たせるよう取り組んできました。

総合相談・家族支援事業などについて

<家族介護教室>

高齢者の介護で悩む家族や今後介護をする可能性のある家族に、介護保険の制度やサービスの利用方法、在宅介護の方法や介護食の作り方等を知っていただき、介護力を身につけられるように支援した。また、介護者教室に参加することで、介護に対しての不安や悩みをもつ仲間同士の交流を図り、介護家族の孤立を防止する役割を果たしました。

<認知症サポーター・ステップアップ養成講座>

認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対して手助けする「認知症サポーター」を養成し、認知症高齢者等にやさしい地域づくりに取り組みました。

<高齢者のこころの相談>

認知症サポート医による専門相談を個別に行いました。

対 象：滑川町在住、高齢者介護にあたっている家族

時 間：30～60分程度/件

頻 度：1回/月 通年

担当者：認知症サポート医 埼玉森林病院長、地域包括支援センター職員、在宅介護支援センター相談員